

# 令和4年度定時総会(第10回)理事会(第31回)開催

- ・役員改選 湊屋会長再任。新専務理事に小野秀人氏就任。
- ・重点事項: 会員数維持・拡大による財政基盤の安定を掲げる。  
会員目標 270先

・令和4年6月6日(月) PM3:00～ 秋田キャッスルホテル 矢留の間

・(一社)秋田県経営者協会令和4年度「第10回」定時総会が、6月6日(月)秋田キャッスルホテルにおいて出席者212名(委任状出席者150名)開催された。定時総会にあたり湊屋会長が開会挨拶を行い、審議議案は、すべて承認となった。

令和4年度「第10回」定時総会での承認議案は次のとおりです。

第1号議案 令和3年度事業報告・収支決算報告  
(監事による監査報告)

第2号議案 令和4年度事業計画(案)・並びに収支予算(案)

第3号議案 任期に伴う役員の改選(理事選任後、理事会にて会長・副会長および専務理事選任)



## 湊屋会長開会挨拶

「会長の湊屋でございます。会員の皆様にはご多忙のところご出席いただきまして誠にありがとうございます。コロナ禍によりまして一昨年、昨年と規模を縮小しての総会を余儀なくされましたが、今年は2年ぶりにフルスペックでの開催となり、大変うれしく思っております。5月、6月は各種団体の総会が集中する時期ですが、多くの総会が平常モードで開催されるようになりました。先月下旬までは、地域を問わず全国的に感染者数が高止まりしておりましたが、私たち自身のコロナへの意識は大い変わってきたように感じております。

さて、経済であります。ロシアのウクライナ侵攻を主因とする資源高や食糧品をはじめとする諸物価の高騰、サプライチェーンの混乱による生産活動の停滞、また、内外金利差にともなう20年ぶりとなる急激な円安の進行等、日本経済はまさに八方塞がりの状況にあります。最近になり、マスク着用基準の見直し、入国制限の緩和等、政府のコロナへの対応方針は緩和へと大きく舵を切り始めました。ウィズコロナは新たなフェーズを迎えております。基本的な感染対策を継続しつつも緩和するものは緩和し、社会経済活動の正常化の進展により国内消費の回復を図り、これをもって日本経済復活の糸口にしたいものであります。

2019年に「働き方改革」が施行されてから3年が経過いたしました。「年5日の年次有給休暇の取得義務」、「時間外労働の上限規制」などの改正事項に、会員企業の皆様は鋭意取り組まれておられますが、本日はこの後、川口秋田労働局長様にご講演いただきます。大いに勉強させていただきたいと思っております。



ところで最近、私共経営者にとりまして悩ましいのが賃金であります。日本経済の長期停滞の一因に「賃金が等しく伸び悩んでいる」ことにあるとの指摘がしばしばされるようになりました。経営する企業の生産性を高め、あるいはトップラインを強化してその果実を従業員と分かち合うことは私たち経営者の責務であります。しかしながら、一方で地域性や収益性、企業規模を考慮することなく適用される最低賃金の大幅な引き上げについては、コロナ禍で苦境にある多くの中小企業の経営がさらに圧迫され、雇用の維持、引いては事業の存続が危うくなるのが懸念され疑問を呈せざるを得ません。

秋田県経営者協会は使用者代表委員といたしまして、「秋田県労働委員会」、「秋田地方最低賃金審議会」などの公設委員会の委員を務めているところでありますが、今後とも経営者の立場から発言を続けてまいりたいと考えているところであります。会員の皆様には引き続きご支援賜りますようお願い申しあげ、ご挨拶とさせていただきます。」  
(文責：秋経協事務局)



定刻に協専務理事が開会宣言、湊屋会長を議長に選出し、定員数の確認の後、議案審議となった。事務局から第1号議案 令和3年度事業報告、収支決算報告がなされ、堀井監事が監査報告を行い承認された。続いて第2号議案 令和4年度の事業計画(案)並びに収支予算(案)が提案され原案通り承認された。重点事項として会員の増強による財政基盤の安定が示された。第3号議案は任期満了に伴う役員の改選。候補者について全会一致で承認された。承認後、理事会開催のため暫時休憩とし、第31回理事会を開催し、会長・副会長および専務理事の選任を協議。湊屋会長はじめ副会長4氏は再任となった。また、専務理事は脇正雄氏の退任に伴い、小野秀人氏が任免された。理事・監事の任期は2年で令和6年定時総会までとなる。

### ・任期満了で改選された理事・監事・幹事一覧

(敬称略)

役職名		支部	氏名	会社名	
理事	会長	秋田	湊屋 隆夫	秋田銀行	再任
〃	副会長	横手	齋藤 善一	羽後交通	〃
〃	〃	北鹿	小畑 保彦	秋北バス	〃
〃	〃	由利	齋藤浩太郎	齋彌酒造	〃
〃	〃	秋田	小笠原孝史	東北電力秋田支店	〃
〃		北鹿	進藤 進	秋田銀行大館支店	新任
〃		能代	広幡 信悦	中田建設	再任
〃		能代	中山 悟	秋田銀行能代支店	〃
〃		秋田	西宮 公平	秋田海陸運送	〃
〃		秋田	渡邊 綱平	秋田中央交通	〃
〃		由利	菊地 聖一	TDK	〃
〃		由利	須田 哲生	由利工業	〃
〃		仙北	小原 良英	大曲土建	〃

//		湯沢・雄勝	鈴木 達夫	鈴木又五郎商店	再 任
//	専務理事		小野 秀人	秋田県経営者協会	新 任
監事		秋田	堀井 啓一	秋田県信用保証協会	再 任
//		秋田	佐々木利幸	秋田グランドリース	//

幹 事	支 部 名	氏 名	氏 名	氏 名	氏 名
	北 鹿	塚本 徹	川井 祐介	中田 直文	山脇 精悦
	(6名)	戸田 直人	赤坂 栄紀		
	能 代	福田 幸一	佐渡 雅樹	秋元 秀樹	佐藤 肇治
	(4名)				
	秋 田	森田 良平	辻 良之	赤川 靖宏	斉藤 一志
	(15名)	佐川 博之	平川 順一	石塚 真人	大柳康三郎
		立田 聡	本多 一義	佐々木仁志	伊藤 新
		高橋 良治	善 英喜	西中 啓二	
	由 利	相庭 利成	猪股 春夫	山田 博幸	斎藤 雅人
	(6名)	石上 靖晃	三浦 俊之		
	仙 北	山崎 斎	高柳 智史	笹木 宣幸	
	(3名)				
	横 手	岡部 宏哉	相場 和久	深澤 禎彦	
(3名)					
湯沢・雄勝	佐貫 友洋	小西 暁			
(2名)					

議事終了後、新旧専務理事が退任・就任挨拶を行い、総会を終了した。

総会終了後、川口秋田労働局長が記念講演として「秋田で働き方改革はどこまで進んでいるか」をテーマに約1時間の講演を行った。



専務理事退任した脇正雄氏



専務理事新任となった小野秀人氏

## ・記念講演

演題「秋田で働き方改革は、どこまで進んでいるか」

講師 秋田労働局長 川口秀人氏

講師プロフィール

昭和41年12月 神奈川県出身

平成 2年 労働省入省

11年 大分県商工労働部職業安定課長

24年 厚生労働省沖縄労働局長

29年 厚生労働省中央労働委員会事務局審査課長

令和 2年 厚生労働省労使関係担当参事官

(併任 新型コロナウイルス感染症対策推進本部  
広報班長)

令和3年9月より厚生労働省秋田労働局長



講演は、労働行政からみた秋田県の問題点、現状を「働き方改革」により進めている政策ごとに資料を用い、分かりやすく解説、1時間余りの講演となった。

解説は、人口減少、高齢化の動向、有効求人倍率の動向、新卒者の状況、労働環境、労働条件、パワハラ対策、新型コロナウイルス対策、育児休業促進、女性活躍推進など分野は多岐に亘った。

解説のまとめとしてこれらの問題をどのように捉え、解決したらよいかを提案し、講演を結んだ。

・経営者は問題意識を持ち取り組んでほしい。

若者の県外流出の原因は何か。若い人に選ばれる組織となっているか。等

・秋田には風力発電・林業・製錬・醸造・発酵等魅力あるものが多く、可能性を秘めている。これらの資源を活用し秋田に人を引き寄せる・呼び戻すための施策が必要。

・多様な人材の活用・確保(既卒者・高齢者・障害者・外国人の活用)

・多様な選択肢の提供(テレワーク・副業・週休3日制の導入)

・企業への支援・地域振興により定着化の推進

・風土・歴史・伝統の力(誇りを持つことの重要性)

